

青山学院校友会 2026 年度 事業計画

1. 母校への貢献 – 「青山学院万代基金」への協力

青山学院校友会の目的は校友の親睦と母校への貢献であり、その校友には将来を担う在学生も含まれます。母校への貢献として創設された「青山学院校友会奨学金」への寄付を今年度も継続して募り万代基金に協力します。

2. 校友会活動のデジタル化推進

校友会ウェブサイトでは、校友会のすべての所属団体が自身でウェブサイトを作成できます。今年度は、校友に母校への興味関心をもっていただくために、LINE を活用した発信をしつつ、各団体のウェブマスター（デジタル担当者）とのコミュニケーションを推進し、ウェブサイトでの情報発信の強化を行います。会費徴収システムは順調に利用団体が増えているので、ワークフローの見直しも検討します。青学商店街については、今後のリニューアルに向け、掲載店についての検討などを進めていきます。

また、学院所有の校友データベースのリニューアルが予定されているので、個人情報保護に配慮しつつ、利便性を保てるようシステム構築を行っていく予定です。

3. 広報活動の充実

校友会の広報誌として「あなたと青山学院」を学院と共同制作しています。2024 年度にリニューアルされた校友会ウェブサイトには、電子ブック版の「あなたと青山学院」も掲載されており、それ以外にも校友会所属団体の情報を見ることができます。また、2025 年 2 月に校友会の公式 LINE を立ち上げ、お友だち登録者が 3,000 名を超えました。現在「あなたと青山学院」は、校友会のウェブサイト、Facebook、LINE からお読みいただけます。LINE から氏名や住所変更等も可能で、便利にお使いいただけますので、ぜひご活用ください。今後もより多くの校友の皆様へ情報をお届けできるよう、広報活動の一層の強化を図ります。なお、本総会資料の裏表紙にある二次元コードから、各広報媒体にアクセスできますので、ぜひご活用ください。

並行して、全国の校友が運営するお店を紹介する「青学商店街」も各媒体を使って校友に紹介してきました。今年度も掲載数を増やして、校友のさらなる交流につなげてまいります。

上記の重点活動方針に加えて下記の活動を行います。

4. 在校生への支援

1) 就職活動支援—大学部会と協力して実行

校友会にとって大学在学生は準会員であると共に、将来の校友会活動を担う重要な人材でもあります。その後輩達が希望に溢れて社会に巣立っていくために、大学の進路・就職部の指導方針のもと、引き続き多くの校友の協力を得て、就職活動への動機付けや、模擬面接・模擬グループディスカッション等を通じ寄り添った就職支援活動を行います。

2) ボランティア支援、スポーツ支援、その他在校生による諸活動への支援

在校生のボランティア活動はサーバントリーダーシップを育み、スポーツの応援は愛校心を高めます。

青山祭、相模原祭、文化祭、AOYAMA GREEN FESTIVAL など、在校生と校友が交流する機会を捉え、校友会はこれらの活動をオール青山の観点から支援します。

また教育の国際化をさらに推進するため、海外支部と連携して学院のグローバル化に協力します。また支部やアイビーグループと協力し、体育会系、文化系の学生活動を応援します。

5. 校友会活動の活性化

1) 次世代委員会

若い人たちが積極的に校友会活動に関われるよう、2024年度からはじまった「次世代委員会」は、20代～30代の校友による「新緑会」として、若手校友による活動が行われています。卒業後も母校と途絶えることなく関係が続いていくことで、母校の発展に寄与していくことを期待し、今年度も次世代の校友会を担う校友が育つよう、この「新緑会」の活動を支援していきます。

2) AOYAMA GREEN FESTIVAL(第33回青山学院大学同窓祭)

昨年度より AOYAMA GREEN FESTIVAL は大学部会との共催体制へ移行し、本年度はさらに学校法人青山学院の全面的な協力を得て、実施いたします。引き続き「あつまれ青学ファミリー！」をテーマに掲げ、支部やアイビーグループ所属団体の参画を促進してまいります。オール青山による一体運営を構築し、安定的な継続と世代や立場を越えた交流機会を創出しさらなる発展を図ってまいります。

3) 部会・同窓会、支部、アイビーグループ活動への支援

充実した校友会活動のためには、その構成団体である部会、学部・学科同窓会、国内・海外支部、アイビーグループの活発な活動が不可欠です。そのため各々の団体と協力し、活性化に繋がる仕組みづくりを目指すと同時に、必要な事業を行います。今年度も引き続き海外支部の活性化に力を入れます。

4) グリーンエリアの利用促進

グリーンエリアの設備やサービスを、今年度も校友の皆様にご利用いただき、校友の交流活動の活性化につなげていきます。

6. 校友会員データの更新

部会・同窓会と連携し、逐次データの精度を高めていきます。また個人情報保護に配慮しながら様々な情報提供依頼に対応するよう努めます。学院と協力して将来の校友データベースの在り方を検討します。

7. 牧師を志す校友への就学支援

牧師、伝道者を志して神学校で学ぶ意志のある校友のために、その就学費用の一部を支援します。2016年度より施行し、2025年度は2名の支援を行いました。2026年度もこの支援を続けていくほか、支援の拡充もして参ります。

8. 校友会の今後について

前述の若い人たちが中心の「次世代委員会」の活動と並行して将来の校友会活動を担う人材の発掘・育成を行い、その人材が活動しやすい環境を整えることを検討します。

また、「青山学院校友会奨学金」の周知を目的とし、校友との親睦を図るため、今年度もチャリティゴルフコンペを8月に予定しています。皆様のご参加をお待ち申し上げます。